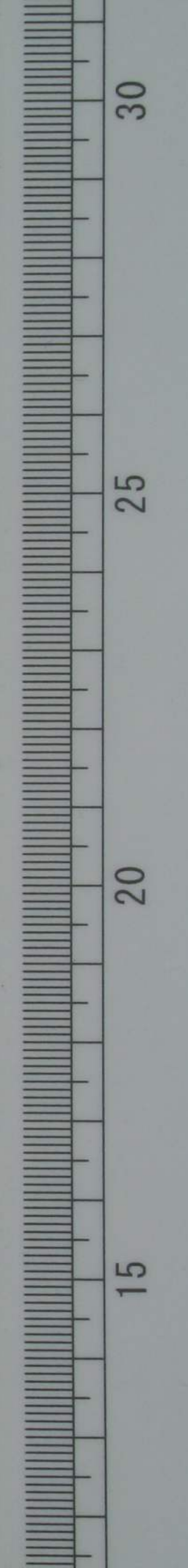




吾妻美經抄 五編 全

76
3156
5



ル 3
468
5

門 7 6
3156
5

門 7 1
3504
5



世嘗

人情及味天壽



蘭

蘭

蘭

蘭

關

關

關

關

小結

小結

小結

小結

蘭

蘭

蘭

蘭

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

ほむせしたまひ人の見立

たぐさるる方

大関 金ものちの志いんほう

関脇 むすめの志をぬすま

小結 よめいどまの志をぬす

前頭 後者のせこやま

同 よめいどまの志をぬす

同 とらりの志をぬす

同 けの志の志をぬす

同 ぶんの志をぬす

同 すまじくのおみど

同 うまの志をぬす

同 おみどのおんま

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 うまの志をぬす

同 とらりの志をぬす

同 やまの志をぬす

同 ままの志をぬす

同 おみどのおんま

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 うまの志をぬす

行司 志の志をぬす

まぐさるる方

大関 いろいろの志をぬす

関脇 をたよあらかむろ

小結 志の志をぬす

前頭 白徳の志をぬす

同 後者の志をぬす

同 中一の志をぬす

同 おやまの志をぬす

同 志の志をぬす

同 十載もつぐまの志をぬす

同 おやまの志をぬす

同 おとあのおんま

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 やまの志をぬす

同 志の志をぬす

同 仕おせの志をぬす

同 おたよの志をぬす

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

同 志の志をぬす

同 ありあがるの志をぬす

行司 志の志をぬす

うそは偽りて見えぬ御

うそその方

まことの方

大関 百物ぞうりのまけもの
 関脇 此はむすねとりの飛ひ
 小結 切置番の今金さうらう
 前頭 びんぞう舞いあそび人
 同 敵つりののらつーわく
 同 ねひまのぢらこ中ぶそ
 同 女飛入の入りきく業
 同 つん平の抱きかかるとん
 同 けいせいの入しなくろ
 同 事ふきのとやうやまひ
 同 又すうりの魚つうらう
 同 げんやの志やうめら
 同 ころよおあれたる殿
 同 急ごーわのが解
 同 かねとせのねと
 同 佛人のせうめり
 同 伴寄勢うのこトと
 同 抱擁仕のたひらく
 同 百一やうのふさく
 同 秋かさおへんむき
 同 けん徳大やうのとり
 行司 正月のこと

大関 大いんと免の将人ぶつ
 関脇 小入のあまゆらう
 小結 山よ舞うはさうり
 前頭 斬りあつてのむすぶ
 同 てのいおはるきねの女
 同 せびやうのころやう
 同 何時ぞとんでるおね
 同 敵だちやうあそび
 同 舞いあそびたれ秋この
 同 地やうのまおあけん
 同 十月の
 同 儀
 同 義経はかりさうらう
 同 かやうとあめあはるの
 同 かつら子やあめあはる
 同 てんびんのたま
 同 てまき生
 同 だ
 同 斬りあつてあそび
 同 さりまのむだめ
 同 良きへ舞の徳の
 行司 志一やうかむ

頭取 出ぬは入り
 かわり

頭取 三石のせ
 こよの
 二月三日

かみじらりんととの舞

勸進元系山陣の真本

舞人 大坂だんぢり引人

あづみのせい

みどりのせい

大関 ごとくらのまらのせ

大関 ありやまのうそのけ

関脇 ちどまてとくが直は

関脇 びつろくしんげ

小結 いぬのありはせ

小結 どののらろごと

前頭 せんごごめをせしら

前頭 三十三のりふとん

前頭 ふまのわのふんどし

前頭 多のらうふんどし

前頭 ふくんのがのともり

前頭 いらごごめんびせんらう

前頭 びんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 うみりらのとせ

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

前頭 ちんごごめつうとあり

前頭 ちんごごめはせはつとん

行司 倉くららのひも

行司 とびつきのれら合

頭取 ちんごごめつうとあり

頭取 ちんごごめはせはつとん

ちんごごめつうとあり

ちんごごめはせはつとん

あやうでもきあ
あやうでもきあ
果実の相模

あやうでもきあ

あやうでもきあ

大関 ちごくぶくらく

大関 せりこのころい

関脇 けいせいのまこと

関脇 ひつちのちんが

小結 せりありのたいこ

小結 小びとありのけん

前頭 ちしんのむさ

前頭 高人のかけ紙

前頭 全 ざん

前頭 げいふれきま入り

前頭 ねをい合のさくえ

前頭 お玉陣乃た紙

前頭 ゆきまのひとたま

前頭 浜のまの車きり

前頭 えん 車けこよ

前頭 ぶ形作のらんが

前頭 足利の人ごのえん

前頭 友達のあゆとこ人

前頭 ろうあうれよん女

前頭 のとれさんたま

前頭 令持乃 景者

前頭 かけつさまとる人

前頭 ぶんやあはほぶ

前頭 後家の乃世信人

前頭 有 佛 渡 あり

前頭 寺の 大こく

前頭 文字のよきうた

前頭 卒るてあせう人

前頭 出岡 兼

前頭 ちたのの海軍がわ

前頭 かまひぐさ

前頭 せんたいせに

前頭 けん 者よ

前頭 さうまのよき人

かへても 喰見見在角力

勸進元 ありてい 観音 養人 するてい 虫ぬけ

大関 大船なる 西風すた 大関 せんきき 寒の内

関脇 祇のえいふ 菓子すた 関脇 こ祇とてい 人ごすた

小結 けいさきふ 鯛の汁 小結 きたしのも 在所酒

前頭 けいさきふ 肴すた 前頭 けいさきふ 胡瓜すた

前頭 けいさきふ 鬼布すた 前頭 けいさきふ 唐くじすた

前頭 けいさきふ 祇えい白 前頭 けいさきふ 竹の子すた

前頭 けいさきふ 安米すた 前頭 けいさきふ 三月か

前頭 けいさきふ 吸物すた 前頭 けいさきふ 豆腐すた

前頭 けいさきふ かつらすた 前頭 けいさきふ かきすた

前頭 けいさきふ せしすた 前頭 けいさきふ 月見の夜

前頭 けいさきふ 下手すた 前頭 けいさきふ 娘汁すた

行 人とのこむ 男 達 取 ねつらてい 江の子嶋

司 三味せんらる 引かてい 取 おこいのみ 女すた

世 たごすさい わーとてい 取 おてとてい 剣術者

人 生貝すさい 目とてい 取 あびすた ありとてい

名乗上 豆腐すさい やれとてい 取 あわうり 庵とかみん

古歌 けいさきふ けいさきふ ありとてい

ていさきふ けいさきふ ありとてい

芝居好 縁すね 毎んごの論

○芝居すねのひま

芝居とてこれ物知りふあひく
 一生のうちお徳多し
 う一社を雄の死もに業も
 志んどあ一かふる道具
 二の替りんくさんんの死やうと
 これより甚やくおつむり
 女子の膝のしき日やうと
 此の二三年の意もさる
 所々のふりあはあふと
 至具のあつむりさるの
 山坂のあつむりさるの
 たうりともむねをそのめ
 養目もく川どあやうの
 風まらたふくひあは
 芝居つきておとす
 子ごもがやうととさる
 らんも叶をなすよう
 つらぬのまらんをひく
 あつむりの膝へまこす
 らんも叶をなすよう
 女子のむづりひもむめ
 女子のむづりひもむめ

○接ぎのひま

可也子から膝とせむ
 たふあつてむいさの
 ぶくく一銀箔の舞
 涙すあうのうたが
 長閑をそとに伴勢
 なるのたのしく
 湯治西國大和免
 筒三つんはもあ
 初めは水ぶき
 むいあふくも見
 芝居であふ
 まうり好
 モウ初めあ
 初日の幕も
 岡のむづり
 まげよすま
 芝居のむづり
 せむする
 芝居のむづり
 小僧人らへる

新板 歌舞妓町見物 (Shin Itadaki Ukiyodori)

舞臺へいざあつてうけいせいの
 利見出〜いざい〜い〜い〜
 かのこのそらじよは作らるるまで
 といふも華があらぬい〜い〜
 村社た〜い〜い〜い〜い〜
 惟〜い〜い〜い〜い〜
 繁か〜い〜い〜い〜い〜
 みる〜い〜い〜い〜い〜
 此通〜い〜い〜い〜い〜
 ホ〜い〜い〜い〜い〜
 長おの内よ〜い〜い〜い〜
 ののち小〜い〜い〜い〜
 寶の親の〜い〜い〜い〜
 續〜い〜い〜い〜い〜
 む〜い〜い〜い〜い〜
 物使上〜い〜い〜い〜
 本後〜い〜い〜い〜い〜
 志〜い〜い〜い〜い〜
 本〜い〜い〜い〜い〜
 お〜い〜い〜い〜い〜
 押〜い〜い〜い〜い〜
 故〜い〜い〜い〜い〜
 出〜い〜い〜い〜い〜

舞臺の〜い〜い〜い〜
 わ〜い〜い〜い〜い〜
 え〜い〜い〜い〜い〜
 さ〜い〜い〜い〜い〜
 大〜い〜い〜い〜い〜
 の〜い〜い〜い〜い〜
 世〜い〜い〜い〜い〜
 こ〜い〜い〜い〜い〜
 松〜い〜い〜い〜い〜
 ぬ〜い〜い〜い〜い〜
 大〜い〜い〜い〜い〜
 押〜い〜い〜い〜い〜
 銀〜い〜い〜い〜い〜
 か〜い〜い〜い〜い〜
 衆〜い〜い〜い〜い〜
 後〜い〜い〜い〜い〜
 さ〜い〜い〜い〜い〜
 下〜い〜い〜い〜い〜
 肩〜い〜い〜い〜い〜
 む〜い〜い〜い〜い〜
 下〜い〜い〜い〜い〜
 新〜い〜い〜い〜い〜
 男〜い〜い〜い〜い〜

かばらにのみほほ校

金 かね
 後より神もつてのせむし
 らんじいんせむしつらむし
 十もむしむしむし

長 なが
 ながながながなが
 ながながながなが
 ながながながなが

備 びい
 備前備後備前備後
 備前備後備前備後
 備前備後備前備後

家 か
 家の元家二家三の家
 家の元家二家三の家
 家の元家二家三の家

用 よう
 用の元用二用三の用
 用の元用二用三の用
 用の元用二用三の用

女 にょ
 女の元女二女三の女
 女の元女二女三の女
 女の元女二女三の女

令 れい
 令の元令二令三の令
 令の元令二令三の令
 令の元令二令三の令

性 せい
 性の元性二性三の性
 性の元性二性三の性
 性の元性二性三の性

性 せい
 性の元性二性三の性
 性の元性二性三の性
 性の元性二性三の性

不 ふ
 不の元不二不三の不
 不の元不二不三の不
 不の元不二不三の不

喰 く
 喰の元喰二喰三の喰
 喰の元喰二喰三の喰
 喰の元喰二喰三の喰

酒 しゅ
 酒の元酒二酒三の酒
 酒の元酒二酒三の酒
 酒の元酒二酒三の酒

捕 と
 捕の元捕二捕三の捕
 捕の元捕二捕三の捕
 捕の元捕二捕三の捕

判 はん
 判の元判二判三の判
 判の元判二判三の判
 判の元判二判三の判

公 こう
 公の元公二公三の公
 公の元公二公三の公
 公の元公二公三の公

下 げ
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下

下 げ
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下

下 げ
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下
 下の元下二下三の下

高 こう
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高

高 こう
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高

高 こう
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高
 高の元高二高三の高

青物番奉突入精獲交

青物奉季獲交之事

一 けせりと申女出生共みかんと團らんび
 ごとりゆりゆりト村心松葺せり後
 成者あううたけさうり様ごがうゆりく
 よさんせうはひ所実正也持り去うやの
 三月奉の三月迄中奉の移入ほうとの
 定め獲取とあゆてん志外し中うがかり
 計取次とてえりこらん人あつてえり
 せんがめうとあて二股大根三つ塔くよひた
 ちうのたれんたいも頭株りり種もあぬあり
 うひの中浦は後と宗と交代もあぬ後
 そう漢者君三枚の又山まんとえりさうらん
 和尚の修業は後と青物一札仍も如件
 根葉三年柿付
 茄子の青
 後人行の毒を
 大根を尻を境の板

浮世 貝ばばし
風流



岸と云ふ文字のひく世に云ふ文字ありて
 ちりある花んとて風ふちりくさるる貝
 指をあかしして千巻貝ありびの貝の所
 認ひおもひのちおもひの貝ありせん
 隆ふ千巻貝とれを今下の花貝と云ふも
 うげののりすれ貝心のそとをうりせ
 貝やうくくうと云ふのき巻貝の何う系中物
 ちり平ら三河通の貝の時ふ幹貝と云ふ
 うらうら花貝と云ふはくされて巻貝もども
 あまよとと行巻貝もてうまのまのり
 貝ひちうあて赤貝みぬみのうきく
 おろくれとてぬうふのゆらうもあはし
 やとてあつちとてと巻貝これあま
 ふもやまのりまのり下とてあまの
 びとて貝まきとめ貝ありとてあまの
 たてとて貝の貝三つ巻をぬまのり
 や貝あてとて貝のあまのり
 貝やまのりあまのりあまのり
 ぐら貝はがあのとたふ入まのりあまのり
 りとてあまのり

芳若此子^{あはれ}家^{いへ}の^{あま}言^{こと}と^さざりて
お福^{ふく}と^さら^に福^{ふく}筆^{ふで}を^のび^て初^{はつ}春^{はる}を^おも^いて
之^{これ}を^あま^まと^して^いひ^ます^まの^あは^れの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
表^{あらわ}す^まに^あま^まと^して^いひ^ます^まの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
を^あま^まと^して^いひ^ます^まの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
元^{もと}か^らい^てお^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
笑^{わら}ふ^まに^あま^まと^して^いひ^ます^まの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
お^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
の^あは^れの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
口^{くち}を^あま^まと^して^いひ^ます^まの^あは^れの^あは^れの^あは^れ

お^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ

お^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
お^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ
お^もい^のも^もの^あは^れの^あは^れの^あは^れ

